

平成 25 年度 SC 全国ネットワーク 第 2 回常任幹事会 会議概要

日 時 平成 25 年 7 月 31 日 (水) 14:00~17:10
場 所 日本体育協会 1 階 特別室
出 席 者 桑田幹事長、伊端・関口の両副幹事長、榎、大原、黒須、高橋、中村、鍋島、松田
の各常任幹事
オブザーバー 窪田 (スポーツ安全協会)
事 務 局 小林、小野寺、青田、石黒、藤井、佐野(俊)、安部、添谷
(敬称略)
出席者数 合計 19 名

会議に先立ち桑田幹事長から挨拶。

議 案

1. 総合型クラブ「キャッチコピー」コンテストについて

総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」コンテスト応募作品の審査手順について、事務局より資料に基づき「審査の流れ」および「審査の視点と採点基準」を説明し審議の結果、以下のとおり決定した。

～8 月末	: 応募締切
～9 月末	: 事務局による絞込み作業→20 作品程度を入選候補作品として選定
～10 月末	: 全国のクラブによる投票 (日体協 HP 上で実施)
12 月	: 第 3 回常任幹事会にて最終審査、最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点を決定
平成 26 年 3 月	: SC 全国ネットワーク総会にて表彰式実施
同	: 地域スポーツクラブ育成専門委員会にて報告

2. 生涯スポーツ功労者推薦順序について

平成 22 年度より実施している生涯スポーツ功労者表彰の候補者推薦順序について、平成 27 年度以降のローテーション (案) を資料に基づき事務局より説明。審議の結果、東地区 (北海道、東北、関東)、中地区 (北信越、東海、近畿) については、これまでどおりのローテーションを踏襲することとし、西地区 (中国、四国、九州) については、中国ブロックが 6 年周期、四国ブロックが 5 年周期、九州ブロックは 5 年周期と 6 年周期が混在する案を採用することとした。

3. リーフレットの改訂について

平成 25 年度に作成する SC 全国ネットワーク PR リーフレットの改訂について、事務局より今後常任幹事各位から意見を求め、その意見を踏まえて改定作業を進め、最終的には幹事長に一任をいただきたい旨を説明。審議の結果、異議なく承認された。

4. SC 全国ネットワーク事業の検討について

始めに平成 25 年度の総会開催期日について、候補日をあげて審議の結果、平成 26 年 3 月 4 日 (火) とすることに決定した。

続いて SC 全国ネットワーク事業の検討事項として、事務局より資料に基づき「今後の方向性」「平成 26 年度の取り組み」等をあげて審議検討の結果、「総合型クラブの認知度向上」「中間支援組織の育成」「上部組織への提言」等の具体的な事項があがったが、最終的には正副幹事長および事務局にて確認の上、各常任幹事に報告することとした。

また、桑田幹事長より SC 全国ネットワーク事業企画部会のメンバーについて、資料に基づき諮ったところ異議なく承認された。

報告事項

1. ブロック別クラブネットワークアクション 2013 について

事務局より資料に基づき、日程・会場について説明するとともに、日本スポーツ振興センターからの依頼により、助成金の不正防止等に関する研修を 30 分程度行うこと、また、クラブネットワークアクションを日体協公認スポーツ指導者資格更新のための義務研修と位置づけ、「クラブマネジャー」「アシスタントマネジャー」については、義務研修修了となる旨を報告した。

2. 平成 25 年度クラブマネジメント指導者海外研修事業について

事務局より資料に基づき、同事業の派遣団員 13 名が内定し、団長は桑田幹事長に依頼した旨を報告。9 月 2 日～3 日に実施する事前研修会を経て正式決定する。

3. その他

- ・去る 5 月 18 日～19 日に開催された「第 7 回全国スポーツクラブ会議 in 越後むらかみ」の終了について報告した。
- ・2015 年開催の第 9 回全国スポーツクラブ会議の開催地について、中国ブロック島根県の「出雲スポーツ振興 21」が開催主管クラブとして決定した旨を報告した。（2014 年の第 8 回大会は福島県の南相馬において開催が決定済み）
- ・スポーツ界における暴力行為根絶に向けた取り組みについて、去る 4 月 25 日に「暴力行為根絶宣言」が採択され、7 月 24 日には「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」が策定されたことを報告した。

以上の内容を協議し、17 時 10 分閉会。